

5・6号機 重油タンク防油堤内ドラム缶の処理状況 について

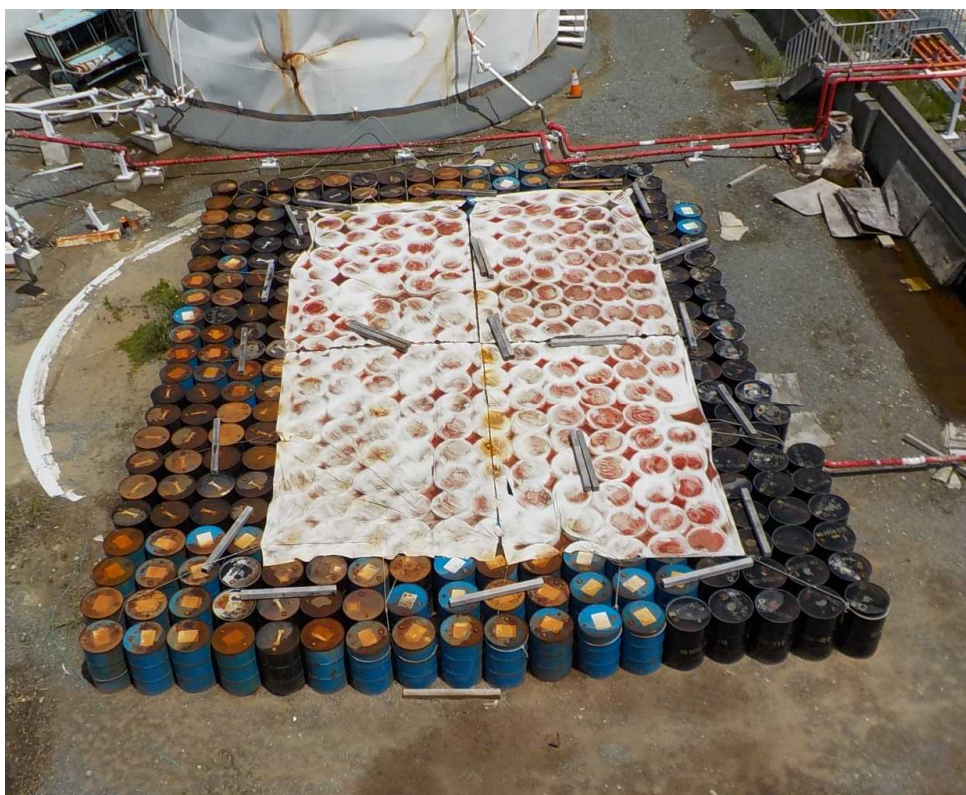
2019年12月16日

東京電力ホールディングス株式会社

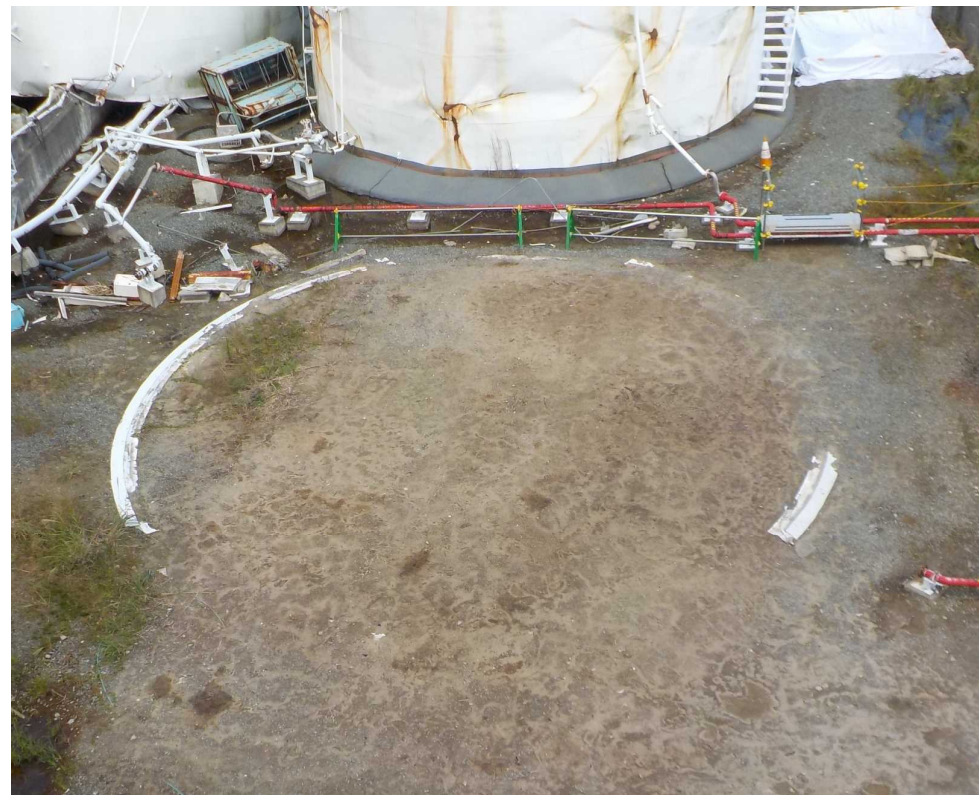
5・6号機 重油タンク防油堤内ドラム缶の処理状況

- 5・6号機海側ヤードの重油タンク防油堤内に仮置きしていた、重油分が混ざった水等が入ったドラム缶※について、2019年8月～11月にかけて移動・処理を実施。
- ドラム缶内包水等については、重油分を吸着剤で除去した上で、ドラム缶に詰め替え、5号機原子炉建屋西側ヤードに保管。
- 撤去したドラム缶は減容し、構内の廃棄物保管エリアへ移動。

※津波被災により港湾へ流出した重油を処理した後の、重油分が混ざった水等を内包



移動前：2019年5月



移動後：2019年9月

5・6号機 重油タンク防油堤内ドラム缶内包水等の保管状況

- 保管場所 : 5号機原子炉建屋西側ヤード (屋根付き)
保管状況 : ステンレス製ドラム缶内部をビニール袋で養生の上、水等を貯留。
パレット敷設の上、ドラム缶を設置し、シート養生を実施。



保管状況 (2019年11月)